



地域の企業・団体・住民

- 学生と一緒に地域課題に取り組みたい。
- 地域と大学の学び合いの場を作りたい。
- 学生のインターンシップや人材の育成に関心がある。
- 本学の取り組み全般に協力したい。
- 本学教員へ課題調査を依頼したい。
(有償場合があります。)

学生

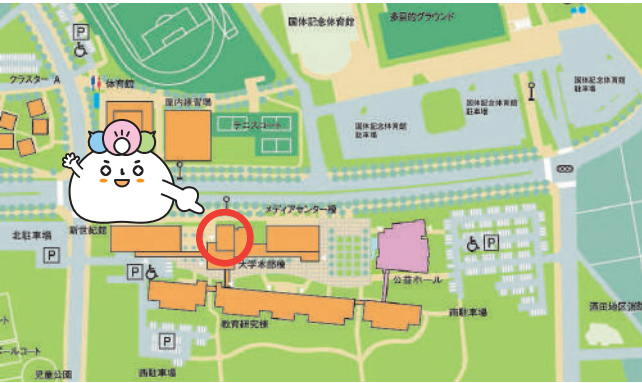
- 地域づくり活動に参画したい。
- ボランティア活動がしたい。
- 地域課題に取り組む団体を立ち上げたい。
- 地元の熱い人たちとつながりたい。
- 地域の役に立ちたいが何から始めればよいかわからない。

当センターでは、ご相談をお受けしております。
皆さまの思いをぜひお届けください。



〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1
TEL 0234-41-1115 FAX 0234-31-2082
Email kyoso@koeki-u.ac.jp
URL <https://www.koeki-u.ac.jp>
開室時間 9:00～17:00(土・日・祝 休み)

大学本部棟に打ち合わせスペースと事務室がございます。
お気軽にお立ち寄りください。



このパンフレットは「令和6年度公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)」の支援を受け作成しました。

地域で活動する 学生団体



お問合せ先 | 地域共創センター
kyoso@koeki-u.ac.jp

Ⅰ KOEKI 日本酒同好会

庄内にある蔵元それぞれの製造方法やこだわりなどを学び合い、若い世代の人々に日本酒の魅力を発信する活動をしています。
「公翔祭」では利き酒コンテストを開催し、上喜元さんの蔵開きの手伝いなどを行いました。



Instagram



Ⅱ 酒田おもてなし隊

酒田市を中心に庄内エリアの魅力を知ってもらう・楽しんでもらうことを目的に様々な形で魅力を発信し、多くの人に庄内地域を好きになってもらえるよう活動しています。外航クルーズ船の寄港時には、歓迎イベントのサポートや市内周遊バスのバスガイドを行いました。



Instagram



Ⅲ Praxis(プラクシス)

酒田市八幡の日向地区をフィールドとし、地域の方々と一緒に地域の課題解決に取り組んでいます。空き家による居場所づくりや畑での野菜栽培、地域の子ども達とのキャンプに取り組んでいます。2019年夏にオープンした「日向里かふえ」では月1店長を務めています。



Instagram



Ⅳ Liga 食品ロス削減チーム

食品ロスを削減するために活動しています。定期的にフードパントリー・フードドライブ・子ども食堂・サルベージクッキングに取り組んでいます。また、小学校や幼稚園での出前授業も行っています。2024年度はこども家庭庁主催「ユースのアクションサミット」、山形県主催「やまがたエシカル消費フェスタ」に参加しました。



Instagram



Ⅴ IVUSA 山形酒田クラブ

国際協力、環境保護、地域活性化、災害救援、子どもの教育支援の5つのプロジェクトを実施しており、主に海岸清掃活動を行っています。2023年度はNPOの支援を受けて学生考案の「海ごみかるた」を作成し、県内41ヶ所の学童保育施設に寄贈しました。



Instagram



Ⅵ 雪かきボランティアサークル SNOW Mans

2023年度に結成。酒田市「やさしいまちづくり除雪援助事業」や山形県「やまがた除雪志隊」へ登録し、随時除雪活動を行っています。2024年度は豪雨災害ボランティア、「第54回新庄雪まつり」での雪合戦に参加しました。



Instagram



／ともにつくろう。わくわくミライ。／

地域共創 センター

地域と大学を結ぶ窓口として2006年に開設。
これまでの連携ノウハウと文部科学省
「地(知)の拠点整備事業」の経験を活かし
東北公益文科大学 地域共創センターは、
地域と共に未来を創る活動拠点として
地元庄内・山形の皆さまと取り組んでまいります。



地域共創センター公認キャラクター
「ともつくん」





4つの部会で活動しています。

地域連携部会

行政や企業、地域の人々と公益大をつなぎ、社会・地域課題の解決に取り組みます。

防災・環境部会

自治体、地域住民とともに、防災・環境教育の充実を図ります。

産学官連携部会

大学と外部機関とのパートナー関係を構築し、産学官連携を推進します。

デジタル人材育成部会

IT技術を活用し、地域資源に新しい視点を創る研究を展開し、地域の文化を未来につなぐ人材育成に取り組みます。



こんな取り組みをしています。



学外ニーズの
ヒアリング
学内シーズとの
マッチング

ヒアリングシートにより学外ニーズを把握し、学内シーズと調整し、地域共創の輪を広げます。



公益教養プログラム
FORUM21の
開催

課外の教養講座(公開講座)として当センターが企画・運営し、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムを実施しています。



教養講座
共創カフェの
開催

本学教員や学生が話題提供者となって開催する、小規模で双方向形式の講座を実施しています。



ボランティア
情報発信
活動支援

学生へのボランティア募集・装備品の貸し出し・研修会を開催し、学生のボランティア活動を支援します。



学生活動支援

学生向け講座の開催や学生活動支援助成金等の制度を運営し、学生の主体的な学びや活動を支援します。



「ハタラクカタチ」
プロジェクト

学生が庄内地域の企業を訪問、取材をし、若者ならではの視点で地元企業の魅力や地域で働く方々のライフスタイルを発信しています。



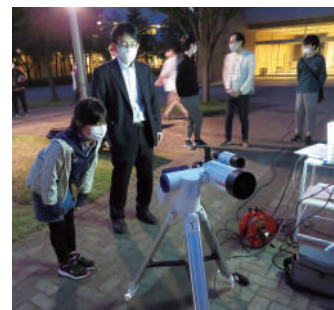
地域防災

住民・行政・専門家と連携して、地域防災・減災のための講演会や防災マップづくり等のワークショップを開催します。



共同研究
受託研究

行政や企業等の課題について、本学教員が共同研究・受託研究で解決を図ります。(有償)



マッチングもします。

ニーズ

学生や教員と
地域のために
一緒に活動したい！



シーズ

地域貢献が
したい！



「学生や教員と地域のために一緒に活動したい！」を可能な限りサポートします。どのような活動を展開できるか、共創の視点で一緒に考えます。

学生 × 地域

教員 × 地域

事例 01

外航クルーズ船寄港や韓国チャーター機就航に伴う歓迎イベントにスタッフとしてサポートして欲しい。



酒田おもてなし隊の学生や一般学生が参加し、英語や韓国語で歓迎した。



事例 02

幼稚園で食品ロスについて子ども達に学びを深めてもらいたい。



これまで小学校で食品ロスについての出前授業を行っていたLigaが実施した。



事例 03

福祉に関する映画の上映と学生によるトークショーを開催する。トークショーに出演してくれる学生はいないか。



地域福祉コースで社会福祉士養成課程に在籍する3年生が出演した。



事例 04

「酒田市のコンパクトシティ化」についての研究を依頼したい。



酒田市の地域ごと、住民一人当たりの行政コストを把握し、コンパクトシティ化の検討を行った。酒田市からの資料やアンケート調査の結果から分析・調査を実施し、産学官で連携し研究に取り組んだ。

地域とつながっています。



日向コミュニティ振興会
事務局長 工藤 志保さん

学生活動団体「Praxis」を中心に「好き&得意なこと」で共創の地域づくり活動に関わって頂いています。子ども達とは「星空キャンプ・ミニ雪祭り」、高齢者とは介護予防講座、地域の方に畑を借り野菜を育てるなど世代を超えた出会いにより共に刺激を受けながら成長させてもらっています。



NPO法人ばらんとす
事務局長 栗原 穂子さん

「ばらんとす」では、地域の課題を人任せにしない地域づくりに取り組んでいます。地域を知り、地域の課題と向き合うボランティア活動にぜひ参加してみませんか？「らくやこども食堂」、「こどもまちづくり倶楽部」等いろいろな活動が皆さんをお待ちしています。

酒田市ボランティア・公益活動センター
センター長 鉦持 ゆきさん

当センター(愛称:ボラポートさかた)は、市民や学生のボランティア・公益活動を応援する酒田市の機関です。地域共創センターと連携しながら、地域や各種団体のニーズと学生の皆さんの思いをつなぐとともに、その活動を支援していきます。